

デイリー・ジーザス・ニュース #162

パリサイ人は癒された男の両親に質問する

ヨハネ9.18-23

18 パリサイ人たちは、その人の両親を呼び寄せるまで、彼が盲目であったのに目が見えるようになったことを信じませんでした。

19 「これがあなたの息子ですか？」と彼らは尋ねた。「生まれつき目が見えなかったとおっしゃったのは、この子ですか？ どうして今は目が見えるようになったのですか？」

20 「私たちは彼が私たちの息子であることを知っています」と両親は答えました。「そして、彼が生まれつき目が見えないことも知っています。」21 しかし、彼が今どうして見えるのか、誰が彼の目を開けたのかは分かりません。彼に聞いてください。彼は成人していますから、自分で話してくれるでしょう。」

22 両親がこう言ったのは、ユダヤ人の指導者たちを恐れていたからである。彼らは、イエスをメシアであると告白する者は会堂から破門されるとすでに決めていた。23 両親が、「彼は成人している。本人に尋ねなさい」と言ったのは、そのためである。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレムの街路
タイムライン	9月(31月)
イエスの生涯の文脈	第六段階: イエスの後期ユダヤ教宣教
	B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教
	盲人の光です
タイトル	iv. パリサイ人は癒された男の両親に質問する

コメント:

今日の朗読では、ヨハネによる霊的な盲目に関する例え話が続きます。癒された盲人は、イエスが奇跡的に視力を与えてくださったことを証言したばかりでした。パリサイ人たちはそれを無視し、次に彼の両親のもとへ行き、イエスは偽善者だという自分たちの思い込みを裏付けようとしていました。

デイリー・ジーザス・ニュース #162

通常、生まれつき目が見えなかった息子が瞬時に癒されたとしたら、両親は大喜びするでしょう。そして、目が見えるようにしてくださったイエスを讃えるでしょう。しかし、この両親はパリサイ人たちに思惑があることを見抜いていました。指導者たちは真実を明らかにすることに興味がなく、ただ自分たちの信念を裏付けたいだけで、そのためにはいじめの手段もいといませんでした。そのため、両親は真実を語ることを恐れていたのです。

パリサイ人は癒された男の両親に尋ねましたが、彼らが求めていた答えは得られませんでした。そこで彼らは証拠を無視し、癒されたことに対する別の説明を盲目的に追い求め続けました。真実に対する「別の説明」は嘘です。それを回避する方法は全くありません。

応用：

他者から情報を求める際に、心を開き、客観的な姿勢を持つことは、情報を得る上で大きな助けとなります。一方、自分の力を使って、聞きたいことを聞こうと他人を強制しようとする、真実について何もわからなくなってしまうことがよくあります。パリサイ人は、指導者としての権力を乱用した悪い例であり、私たちは決して見習うべきではありません。

パリサイ人の行動は、ほとんど滑稽です。確かにその通りですが、本質を見失っています。ヨハネは、パリサイ人が証拠を吟味し、イエスに関するあらゆる真実を拒絶する過程を描写しました。なぜなら、それは私たち皆がしていることだからです。私たちは皆、同じ罪深い性質を持っています。私たちは自分自身の中で盲目なのです。光はイエスのみであり、イエスとの緊密な交わりを保つことによつてのみ、イエスは私たちの盲目の目を照らし続けることができるのです。

の目を癒したように、私たちの霊的な目を永久に癒すわけではありません。むしろ、イエスは私たちの光 / 視力の源として、私たちと共にご一緒にいてくださいます。私たちがイエスから離れれば離れるほど、光を与えてくださるイエスの存在からも遠ざかることとなります。私たちは、世の光である唯一の存在であるイエスと繋がり、正しく歩調を合わせている限り、「見える」ことができるのです。

真実を受け入れることによる結果への恐れは、私たちを盲目にする強力な力であることを、私たちは改めて思い知らされます。親たちはそれを私たちに示しています。変化に抵抗し、不確実性や喪失感、不都合から身を守ろうとする、私たちの罪深い傾向は、人類の歴史と同じくらい古いものです。しかし、あらゆる成長と学びは変化の一形態なのです！イエスに従いながら、変化を恐れて生きることは不可能です。

あなたを盲目に縛り付ける恐れは何ですか？

あなたは今日、イエス様とどれくらい「親密」ですか？

彼にもっと集中するために何をする必要がありますか？